

車いすバスケットに挑戦

神原中で人権教育参観日

神原中（岡田浩典校長）で5日、人権教育参観日が開かれた。保護者らは各教室で人権教育授



車いすに乗って対戦する生徒たち（神原中で）

業を参観した後、全校生徒168人と共に体育館に移り、県車椅子バスケットボール連盟の倉田元

人さん（44）の講話を聞いた。生徒たちは実際に競技用車いすに乗り、競技を体験した。

倉田さんは「パラスポーツを知る、その先に」と題して講演。「パラスポーツを見るだけでなく、車いすバスケット以外にも健常者が参加できる競技もあるので、機会があれば積極的に体験してほしい」と呼び掛けた。

生徒たちは、競技用車いすと通常の車いすの構造の違い、独特の競技ルールについて学んだ。その後、倉田さんが所属するチーム「山口オーシャ

ンズ」の原愛斗キャプテン（22）、高橋幸和さん（41）、棟久克明さん（同）の指導を受けながら、競技用車いすに乗って走ったり、3年生チームと1、2年生チームに分かれて対戦したりした。観戦している生徒たちは夢中になって声援を送り、得点すると大歓声を響かせた。

高原優心君（3年）は「動きたしに力が必要だけど、走っている時はスピードが出て楽しかった。方向転換もすぐにマスターして上手に乗れた」と話した。